

2021年10月27日

三井住友海上火災保険株式会社
株式会社アーバンエクステクノロジーズ

～官民連携DXで道路点検をサポート～ 「ドラレコ・ロードマネージャー」の販売を開始

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：船曳 真一郎、以下「三井住友海上」）と株式会社アーバンエクステクノロジーズ（代表取締役：前田 紘弥、以下「アーバンエックス」）は、2021年12月より、全国の自治体や道路修繕事業者に対して道路等のメンテナンスを支援するサービス「ドラレコ・ロードマネージャー」の販売を開始します。

本サービスでは、各地域のさまざまな企業の車両に設置されたドライブレコーダーのデータを活用することにより、従来のようなパトロール走行を行うことなく、広範囲の路面情報を把握することができます。地域企業と連携した自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進し、事故につながる危険な道路損傷の早期修繕につなげることで、SDGsの達成・安全なまちづくりを支援します。

1. 開発の背景

全国の自治体等が行う道路の点検・管理業務には、高額な専用点検車両や専門職員の目視確認が必要になり、コストの増加や点検担当者不足の課題が生じています。

これらの課題を解決するために、三井住友海上の自動車保険に付帯するドライブレコーダーにアーバンエックスのAI画像分析技術を搭載することで、その映像から得られるデータを活用した道路点検の支援サービスを開発しました。昨年より品川区、尼崎市等12の自治体にて実証実験を行い、道路損傷箇所の検知精度に対し高い評価を得たため、本サービスの販売開始にいたしました。

2. 本サービスの概要

(1) サービス提供先

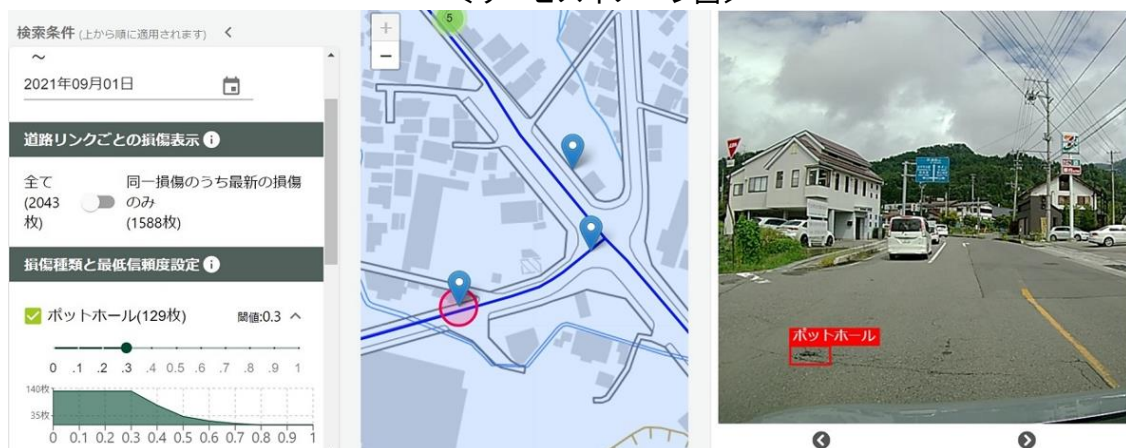
- ・自治体および自治体から道路点検業務を受託している事業者等

(2) サービス内容

- ・大手小売事業者や物流事業者等の車両に設置されているFードラ※等から、広域な路面状態のデータを自動的に収集し、AIが道路損傷箇所を検出し地図上に可視化。
- ・損傷ごとの修繕要否はクラウド上で一元管理でき、道路修繕事業者等への連携やレポート出力も簡単に行えるため、道路点検・管理業務の高度化・効率化を実現。

※ 三井住友海上専用のドライブレコーダーやインカメラで「事故緊急時のサポート」、「事故防止取組のサポート」「運行管理のサポート」を行う当社フリート契約者向けのドライブレコーダー・テレマティクスサービスです。

<サービスイメージ図>



3. 本サービスの詳細

サービスの詳細やお問い合わせ先等は、三井住友海上オフィシャルwebサイト内に掲載のサービス紹介サイトからご確認いただけます。

(URL : <https://www.ms-ins.com/business/dr-roadmanager/>)

4. 今後の展開

三井住友海上は、本サービス以外にも防災・減災や農業、ヘルスケア等に関するサービスの検討を進めており、引き続き、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

(ご参考) アーバンエックステクノロジーズの概要

設立	2020年4月7日
本店所在地	東京都目黒区駒場4-6-1 駒場地区キャンパス 連携研究棟 (CCR棟) 512
代表者	代表取締役 前田紘弥
事業内容	道路点検AIシステムの開発
実績	設立以前から数年にわたり、東京大学 関本研究室と連携して20以上の自治体で、AI画像分析による道路点検の実証を実施しています。代表取締役前田氏の提案が2020年度IPA未踏アドバンスト事業に採択されました。

以上